

新商連共済会 11月24日(日)グローバルビュー新潟
いのちと健康を守る学習交流会 10民商から 48名参加
講演：健康友の会 白山舟江沼垂総支部 井沢和恵保健師
「高齢者は明るく楽しく心の持ち方でご自分の脳を作り変えられる?!」
三条から、山谷理事長(県三役)坂井会長、佐藤副会長、小式沢副会長の4名が参加



「みんなで健康体操」
2種類、指導していただき、からだを動かしました!

講演では、「健康は、食と運動と心の3つが影響しあっている」ことを強調。
「積極的な気持ちで前向きに行動することが重要」「肉より魚、野菜、果物を毎日食べる」「散歩や体操など運動習慣が大切」「趣味など楽しいことをする」「野菜はスーパーフード」など、健康に大切なことを学びました。各民商共済会の発言は「会員訪問で増勢・A会員90%達成」「認知症について市の職員を呼んで学習会」「何十年ぶりのバス旅行が大好評」等。三条坂井会長からは、沖縄の「全商連共済会いのちと健康を守る学習交流会」に参加しての発言。

「春の運動で仲間を増やすため頑張りましょう」と山谷理事長(県三役)の閉会のあいさつで終了しました。



《坂井会長が発言》
裏に掲載しました。



懇親会は、全体で41名の参加で賑やかに交流

朝食に食べたい食品
①卵 ②納豆 ③バナナ
④牛乳 ⑤ヨーグルト
⑥みそ汁 ⑦鮭 ⑧トマト
⑨玄米 ⑩コーヒー これらの食品を毎日組み合わせ、2~3品取り入れていくと、からだの調子が良くなるということです。

大腸がん検診結果お届けしています
128名受診で昨年より多い9名が陽性(+)でした。(昨年は128名受診陽性7名)陽性=大腸がんではありません。早めに再検査をしましょう。3か月以内に再検査された加入者に助成金5000円が出ます。お申し出を。

年末調整学習会(完成会)事務所
12月2日(月)時間厳守でおいでください。10時・13時半 税務署からの袋、給与明細、源泉徴収簿、上半期納付書、扶養家族(生年月日・年収)、生命保険料、損害保険料控除証明書、国保・国民年金支払証明書・介護保険料等わかるもの

「自主申告パンフ 2025」で学び合う
全商連主催

「自主申告サポーター」学校 8名が参加

所得税・消費税 申告書作成の仕方

自分の申告書は自分で作成! 11月21日(木)事務所 大画面で視聴
最初に、「税金の取り方、使われ方が、いかに不平等になっているか」をみんなで怒りを持って確認しました。今年は、定額減税が例年とは違う点ですが「白色専従者と103万円以下の青色専従者」に定額減税を認めさせたのは、民商・全商連の運動の成果と話されました。R7年に「不足額給付」として各市町村から、定額減税分が給付されます。

控除計算のやり方、所得税申告書の書き方、消費税申告書(本則課税、簡易課税、2割特例)の書き方、付表の書き方を自主申告パンフに沿って学び合いました。「定額減税この1年のためだけに申告者本人だけでなく源泉徴収では事業主に、そして、市町村にまで事務負担をかけて大変な減税だ」と怒りが出ました



全国業者青年交流会報告会&交流会
(オンライン)懇親会 事務所(裏面参照)
12月13日(金)19時~20時
その後、懇親会をします。青年部員と若い世代の方へは、先週、封書で案内をお届けしました。アットも同封しました。当日持ってご参加されるか、12/13(金)までに届けていただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。
FAX. メールでも可能です。

15日集金ご協力ください
(遅くとも25日まで)
会費集金、納入にご協力ありがとうございます。民商は、県連へ一般財政及び翌月分共済会費を毎月25日までに送金しています。会費は遅くとも25日までに納入してください。25日は給料日でもありますので財政が大変な中、苦慮しています。ご協力よろしくお願いいたします。

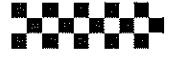
記帳会
12月14日(土)
9時半~事務所
困ったら民商へ
記帳だけでなく色々な相談を受けています。会外の方にもお声かけください。



三条民商

三条民主商工会
三条市興野2-16-9
TEL 32-2710
FAX 32-2718
2024年12月2日号
2637回
sanjo.minsyo@gmail.com

婦人部
スマホ教室
12/9号
または、
12/16日
号に掲載
予定!



新商連共済会 11月24日(日)

グローバルビュー新潟

いのちと健康を守る学習交流会

《坂井会長の発言》

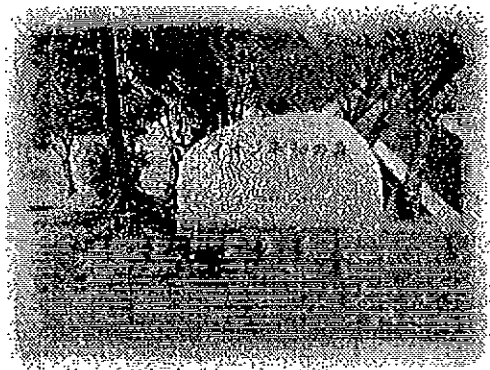


三条の坂井です。よろしくお願いたします。沖縄での第15回いのちと健康を守る学習交流会に参加させていただきました。時間と経費を使ってなぜ沖縄なのかを考えました…「究極の健康破壊は戦争」…だと言われ、『日本が「戦争をする国」に変貌し、米国の戦争に巻き込まれる危険が高まる中で、平和や基地問題を考える上で10年ぶりだけれども、第15回は沖縄で行うのが一番良い』と。今回の学習交流会の資料集に、全商連共済会専務理事・今井誠さんの文献があり、納得しました。

メインイベントが2日目でした。230名が大型バス6台に分乗し、3台ずつA班B班に分かれ、私たち新潟勢3人は東北弁が飛び交う、なまりのA班1号車でした。

役員と一緒に地元の60代くらいの語り部のお姉様の案内で、国道沿いにもある数限りのない基地と史跡をめぐる見学会でした。

当日は朝からどしゃぶりで、長い沖縄県で、北部は川の氾濫があったようですが、中部、南部は氾濫ほどではなかったけれども強い雨で、折り畳みの小さい傘は、あたま部分はなんとか防げたけれど、シャツやズボン、びしょ濡れになりながらの見学会でした。



米軍普天間基地、嘉手納基地、自然の洞窟 「ガマ」「トーチカ」、憲法九条の碑などを見学しました。

「基地の中は、騒音と危険が背中合わせで、兵士の宿舎は基地の外に」作るべしと、兵舎は基地の外、いわゆる「キチガイ」と揶揄する人もいたとか。

発表時間の関係で、一番頃に来たことを一つ言わせていただきます。たそがれが迫る最後の見学でした。



辺野古新米軍基地の建設現場です。建設現場大浦湾の対岸に、地元の名護民商の仲間が横断幕を持って出迎えてくれました。埋め立てる大浦湾の一部は軟弱地盤で、改良に直径2mの杭を1万6000本以上打ち込む予定とか。予算も当初の3倍、2.5兆円、工期12年が15年、それでも完成の目途がたたず、ましてや直下に2本の「活断層」があるとか。

そして、大浦湾には、ジュゴン、サンゴ、ほか多種多様の生物の生息地だとか。メチャクチャな話で、政府はいくら反対運動が盛んになっても、一度決めたことは、とことん、やりとおす姿勢です。写真撮影のため、砂浜で参加者が横断幕を持ちましたが、雨が強風になり、バタバタと幕があおられ、ハンドマイクの音量も乱れる中でしたが、地元の活動家の怒りの訴えを聞きました。

ガイドのお姉様は、大浦湾がこんなに濁っているのを見たことがない、と言っておられましたが、大雨の影響でしょうが、海も我々に同調して怒っていると思われたし、燃える怒りの熱気で、シャツもスポンも乾ききってしまいました。おかげで、3日間、同じ服装で過ごしてしまいました。ちゃんと半袖の着替えは、娘から借りたキャスター付きのボストンバッグに入れて、引きずり回してはいたのですが…。

ここは、大手ゼネコン奉仕、アメリカべったり、日米安保条約… 集中して表れていると感じました。

最後にガイドのお姉様は、「若い頃は、仲間たちの影響もあり、政治や選挙には非常に興味がありました。今の若い人たちに、もっと意識を高めてもらえるよう、メディアにも訴えたいし、語りつぎたい。

そして、皆さんも是非、若い人たちに政治を語りついでください。」とのことでした。

